

平成 25 年度 支援センターみらい
事業報告

【概況】

1. 就労移行支援事業所ふつーるは、今年度 6 名が一般就労されました。今年度の利用者状況は、述べ在籍者数 14 名、入所者 2 名、退所者 8 名（一般就労による退所が 6 名、転居による退所が 1 名、就労に繋がらず他事業所へ移られた方が 1 名）です。就労移行支援事業自体の認知度が低いということもあり、新規利用者の確保が難しい状況が続いているため、広報活動が次年度以降の課題と考えています。

2. ケアホーム事業では、4 月の旭丘ホーム開所に続き、平成 26 年 3 月に 8 ヶ所目のホームとなる桜塚ホーム 5（女性 3 名定員）が開所しました。年末年始を含む 365 日体制のホームとして運営するため、生活支援員 3 名でローテーション勤務体制をとっています。複数名で一つのホームを支援するため、職員間での支援の統一や情報共有などが今後の課題となっています。

3. 相談支援事業所みらいでは、今年度の計画相談契約件数が 17 件で、徐々に増えていますが、市内全体の計画相談対象者と比較するとまだまだ進んでいないのが現状です。また、次年度に開設される基幹相談支援センターに関する検討委員会に参画し

一般相談（地域移行・地域定着）では、現在契約はありませんが、次年度より障害児入所施設からの地域移行支援の相談を受けており、地域移行支援を予定しています。

豊中市生活アシスタント事業（相談）では、月平均 20～25 件の相談があり、その内容は「障害基礎年金申請の申立書の書き方について」「成人期に発達障害と診断されて就職が難しい」「在宅生活が長く、家族の高齢化に伴う将来への不安について」などでした。電話相談だけでなく、来所や家庭訪問を行い、支援を行いました。ホームページや「えん」、「広報とよなか」などを通じ、知名度が増してきたようで、当事者やご家族だけではなく、病院やヘルパー事業所などからの問い合わせも多くなっています。

また、豊中市における相談支援事業の在り方について行政や「えん」を中心に検討が進んでおり、当事業所も積極的に検討に参加しました。

4. ヘルパーステーションあしすとでは、稼働数の増加、ヘルパー確保に努めました。稼働数については、法人内事業所の利用者を中心に利用量が増加し、移動支援、居宅介護とも前年度同時期と比べ約 2 倍の利用となりました。増加し

た要因としては、相談支援において抽出されたニーズを支援に繋がることのできたことに加え、口コミによるものもありました。ヘルパー数が1.5倍(37名)に増えたことも大きな要因と考えられます。下半期の課題としては男性ヘルパーの確保と平日の稼働数向上が挙げられます。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

就労移行支援事業ふつーる

1. 利用者状況 (平成26年3月31日現在)

(1) 在籍状況

男性 5名 女性 1名 合計 6名

- ・入所2名(在宅1名、他就労継続支援事業所1名)
- ・退所8名(一般就労6名、転居1名、他事業1名)

(2) 出席状況(各月初値)

110/240 年間在籍者数 45% 出席率 92%

平均年齢 29歳6ヶ月(22歳から43歳)

	4月	5,6月	7,8月	9月	10,11月	12,1月	2月	1月	合計
男性	8	7	6	5	4	6	5	5	69
女性	4	4	4	4	3	3	3	2	41
合計	12	11	10	9	7	9	8	7	110

(3) 障害程度区分

①療育手帳

A		3
B 1		2
B 2		1

②障害程度区分

区分	人数
1	0
2	1
3	2
4~6	1
なし	2
計	6

2. 日課・週間プログラム

【日課】

午 前	午 後
-----	-----

9:00~9:20	登所・更衣	12:00~13:00	昼食・休憩 (喫茶は11:30から交代制)
9:20~9:30	朝礼	13:00~16:00	活動(適宜休憩)
		16:00~16:20	更衣
9:30~12:00	活動(適宜休憩)	16:20~16:30	終礼・降所

【週間プログラム】

	月	火	水	木	金
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 ラスティング	喫茶 みらい清掃
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 ラスティング	喫茶 みらい清掃

○豊島高校清掃…月4回(不定期)

3. 職員体制等

常勤職員:管理者(1) サービス管理責任者(1) 就労支援員(1) 職業指導員(1)
非常勤職員:職業指導員(1) 生活支援員(1) 事務員(1)

4. 建物・設備維持管理

- ・消防設備点検…7/11、12/19(リタテクニカ)
- ・外壁塗装…9月(家主負担)
- ・害虫駆除…10/18、12/26、2/20(ファシテック広洋)
- ・全館清掃…12/25(ファシテック広洋)

5. 車両管理・送迎管理

【車両管理等】

	キャラバン	ムーヴ
車 検	平成25年9月	平成26年1月

※キャラバンは1年点検を実施。

【修繕等】

7月 キャラバン：車両は左側スライドドアと左側後方のボディー

【車両事故】

7月 キャラバン：みらい契約駐車場出口。住宅の塀に接触。車両は左側スライドドアと左側後方のボディーが裂傷。住宅の塀を一部破損。保険対応。常務、管理者、当事者が被害者宅へ出向き謝罪。

【送迎管理】

特別送迎

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	1	2	1	1	0	1	2	1	1	1	1	1	13
利用日数	2	2	3	2	0	1	10	1	2	2	2	4	31

ショートステイ（あすなろ）や歯科通院などへの特別送迎を実施。
利用者 13 人 年間利用回数 31 回

6. 年行事等

日にち	行事名	行先・場所	参加人数	特記事項
5/18	余暇活動	ラウンドワン千日前店	10	ボウリングなど
10/4	スポーツフェスタ	豊島体育館	8	
11/15	親の会 50 周年記念式典	ひまわり	7	
11/29	宿泊訓練	京都	5	
12/14	余暇活動	支援センター内	8	クリスマス会
2/15	余暇活動	ラウンドワン JR 尼崎店	6	ボウリング

7. 健康管理

- ・健康診断：5/29～6/26 に山口記念診療所にて実施（利用者 11 名）
- ・インフルエンザ予防接種：11/18、20（利用者 5 名、支援員 10 名）
- ・厨房業務は月 1 回の検便実施

8. 防災

日にち	内 容	参加人数
8/30	避難訓練（地震）	9

3/30	避難訓練（火災）	5
------	----------	---

9. 活動支援の取組み

① 就職（6名）

- 4月…阪急阪神ホテルズ（事務補助）
- 6月…ハニービー（パンの配送）
- 8月…大戸屋（食器洗浄）
- 9月…コカコーラ ウェストベンディング株式会社（洗濯、清掃）
- 1月…株式会社NSC（清掃）
- 2月…しゃぶしゃぶどん亭（食器洗浄、厨房補助）

② 雇用前実習（8名）

- ・ハニービー…6/3～7
- ・マックスバリュート淀川三国店（品出し）…6/17～6/28
- ・大戸屋江坂東急ビル店…7/8～7/18
- ・コカコーラ ウェストベンディング株式会社…8/15～23
- ・株式会社NSC…1/14～16
- ・しゃぶしゃぶどん亭…1/28～2/7
- ・大阪大学吹田キャンパス（清掃）…2/17～21

③ 職場体験（2名）

- ・ワタミフードサービス（7/1～29）
- ・原田老人センター（8/30）

④ その他

- ・喫茶（接客、製菓、出張販売）
- ・企業実習（川瀬彦、ラスティング）
- ・清掃実習（みらい、豊島高校）
- ・施設外実習（水道局敷地草抜き）

※平成25年度売上総額 1,037 千円

内訳：喫茶業務 48%、清掃業務 36%（みらい 18%、豊島高校 18%）

企業内実習 14%（川瀬彦 4%、ラスティング 10%）、その他 2%

10. 広報・実習

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、

2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第5号	4/22	450部
2	第6号	9/20	450部

【利用体験実習】

- ・豊中支援学校3年生 1名（女子）…7/22～26
- ・摂津支援学校2年生 1名（女子）…10/28～11/1

【支援者実習】

- ・多機能型事業所あすなろ 1名（女性）…8/26・27
- ・きると 1名（女性）…10/7～31
- ・とよなか障害者就業・生活支援センター 1名（男性）…12/3、4

【その他】

- ・豊中市立第3中学校1年生 3名（男子）…11/11

11. 苦情対応

- ・施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ面談の場や連絡帳でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	利用期限の2年を過ぎたが、就職が決まらない。本人への理解が出来ていないのではないかと。	雇用前実習に取り組むまでは出来たが、ご本人と仕事のペースが合わず、実習を中止した。訴えについては真摯に受け止め、今後の支援に取り組んでいくことをお伝えした。

12. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
4/17	障害者虐待対応シリーズ研修	大阪弁護士会	行動障害の理解と支援	大阪弁護士会館	中島
4/25	甲種防火管理者	消防本部		豊中北消防署	山内

4/26	新規講習				
5/16 5/23	広報紙研修会	大阪社会福祉協議会		大阪社会福祉指導センター	辻
5/29	障害者の雇用・就労支援に向けた研修会	NPO法人 ZUTTO		くらしかん	磯中濱
6/7	人材マネジメントセミナー	大阪社会福祉研修センター		大阪社会福祉会館	岡本
6/20～ 8/12	介護職員初任者研修	ケアネット福祉学院		ケアネット福祉学院梅田校	磯中濱
7/24～ 7/29	就労支援基礎研修	大阪障害者職業センター		大阪障害者職業センター	山内
11/6	施設連絡会研修	施設連絡会		福祉会館	岡本
11/7・8	リスクマネジメント研修	大阪社会福祉協議会		薬業年金会館 大阪社会福祉会館	中島
10/31 11/12	福祉職員研修	大阪社会福祉協議会		大阪社会福祉会館	山内
11/6	施設連絡会研修	施設連絡会		福祉会館	岡本
11/19 12/19	虐待防止研修	大阪府障がい福祉室		ビッグ・アイエルおおさか	岡本
12/5・6	福祉職員研修【指導的職員】	大阪社会福祉協議会		大阪社会福祉会館	中島
12/18	職業リハビリテーション推進フォーラム	大阪労働局		大阪合同庁舎	中島
1/15	発達障害者のコミュニケーションを考える	厚生労働省		大阪市立中央会館	辻
1/27 2/7・19	対人援助者研修	豊中市雇用労働課		くらしかん	磯中濱
2/24 ～28	就労支援スタッフ養成講座	エル・チャレンジ		大阪市立市民交流センターにしなり	山内
3/11	発達障害のある方の理解と支援	豊中市就労雇用支援センター		ホテルアイボリー	中島

※その他、法人内研修に3回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）
ふつーる会議	12	毎月第3水曜日（センター長、主任、ふつーる職員）

*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
サービス向上委員会(主任、他)、個別支援計画会議（主任以下）

13. その他

- ・緊急雇用創出基金事業の地域人材育成事業を受託
2名の職員を雇用し（今年度限りの雇用契約）、資格取得（介護職員初任者研修）や現場実習などを行い、福祉職員の人材育成を行った。うち1名を正規職員として採用決定。

栗ヶ丘ホーム（共同生活介護・共同生活援助）

1. 利用者状況（平成26年3月31日現在）

(1) 在籍状況

栗ヶ丘ホーム：男性3名、女性1名
末広ホーム：男性5名
若竹ホーム：女性4名
桜塚ホーム1：男性3名
桜塚ホーム2：男性3名
桜塚ホーム3：男性2名
旭丘ホーム：男性4名
桜塚ホーム5：女性3名 合計28名

(2) 利用状況

栗ヶ丘ホーム：1357/1440（営業日×4名） 利用率94%
末広ホーム：1465/1485（営業日×5名） 利用率98%
若竹ホーム：1105/1436（営業日×4名） 利用率76%
桜塚ホーム1・2：1645/1698（営業日×6名） 利用率96%
桜塚ホーム3：616/634（営業日×2名） 利用率97%

旭丘ホーム：832/976（営業日×4名） 利用率85%

桜塚ホーム 5：/84（営業日×2名） 利用率85%

2. 職員体制等

管理者1名（兼務）、サービス管理責任者1名（専任）、事務員1名（兼務）

栗ヶ丘ホーム：生活支援員1名（月～金）

生活支援員1名（土、兼務）

生活支援員1名（日、兼務）

世話人1名（月～土）

末広ホーム：生活支援員1名（月～金）

生活支援員1名（月～金、17:00～21:00）

生活支援員1名（火～土、7:15～9:00）

世話人1名（月～金）

若竹ホーム：生活支援員1名（月～金）

生活支援員1名（土～日、兼務）

世話人1名（月～金）

桜塚ホーム1・2：生活支援員2名（月～木または金、兼務）

世話人1名（月～木または金）

桜塚ホーム3：生活支援員1名（月、金）

生活支援員1名（火～木）

世話人1名（月～金）

旭丘ホーム：生活支援員1名（月～木、兼務）

世話人1名（月～木）

桜塚ホーム5：生活支援員1名（日、月、金）

生活支援員1名（火、木、兼務）

生活支援員1名（水、土）

世話人1名（月～金）

計 生活支援員13名・世話人7名

3. 建物・設備維持管理

栗ヶ丘ホーム：消防設備設置、植木剪定

末広ホーム：冷蔵庫の鍵設置、壁修理、植木剪定

若竹ホーム：エアコン修理、電話回線修理

桜塚ホーム1：建物塗装

桜塚ホーム2：建物塗装

桜塚ホーム3：建物塗装
旭丘ホーム：給湯器修理、窓ガラス修理
全ホーム：消防設備点検（年2回）

4. 送迎管理

土曜日の午前中を基本とし、支援センターのキャラバン（10人乗り）を使用して、ホームから自宅等への送りを実施。

運転業務（1名）と添乗業務（1名）をシルバー人材センターに業務委託。

栗ヶ丘・末広ホーム：第2・第4土曜日

桜塚Ⅰ・Ⅱ・桜塚ホームⅢ：第1・第3土曜日

5. 年行事等

各ホーム余暇支援を1回～3回実施。

6. 健康管理・給食

【健康管理】

毎朝の検温、各利用者の服薬管理はもとより、排便、排尿の確認など、常に利用者の健康管理に配慮した。また、利用者が体調を崩した際は、ホーム、センター、日中事業所、ご家族等と連絡をとり、早急に対応するよう努めた。

【給食】

夕食・朝食とも世話人が、基本的には当日購入した食材をその日のうちに調理し提供するように努めた。また毎月1ヶ月分の献立を作成し、栄養バランスを考えた食事の提供に努めた。

旭丘ホーム、桜塚ホーム5については食材宅配サービスを利用し、夕食の提供を行った。献立がある程度決まっているため、世話人の交代などによる食事への影響は少ないと考えているが、他ホームと比べ1食あたり100円ほど食費が高くなっている。

7. 防災

各ホームにおいて地震や火災を想定し、避難訓練を年3回実施した。

8. 活動支援の取組み

各ホームで独自に工夫して取り組んでいる。散歩や買い物に出かけることで運動の機会を提供したり、調理補助や洗濯物干し等、ご自分でできることに取り組んで頂いたり、生活力の向上にも努めた。カラオケやゲーム、テレビ等、余暇支援も行った。

9. 広報活動

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第5号	4/22	450部
2	第6号	9/20	450部

【地域交流】

桜塚ホーム5では、月に1回敷地内の公園や団地周辺の定期清掃を行っており（第3日曜日の午前9～10時）、その際近隣の住民の皆さんと掃除を通して交流している。

桜塚ホーム3では自治会の理事を担当し、自治会活動に参加。

その他のホームにおいても地域の祭りに参加するなど、地域交流を図っている。

10. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場合でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	ホームのベランダ側の窓の施錠が出来ていなかった。	退勤時の確認を徹底した。
近隣住民	支援員が階を間違え、申し出人宅の台所まで侵入し、その際の謝罪の仕方も気に入らなかった。	管理者、サビ管、当事者とともに申し出人宅へ出向き謝罪。表札とドアノブの確認を徹底した。
近隣住民	不燃ごみの日に生ごみが混入しており、カラスがごみを散らかした為、掃除を行った。	住民の方に謝罪を行い、ごみを出す際は必ずスタッフが確認を行うよう徹底した（利用者が行っているため）。

11. 職員研修・会議等

【職員研修】

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
9/25	世話人・生活支援員向け研修	GH, CH 事業者連絡会	重度障害者のよりよい暮らしのために	福祉会館	近藤 世話人 支援員
10/15	社会福祉施設職員研修会 成人施設課程応用コースⅡ	大阪社会福祉協議会		大阪社会福祉会館	近藤

・法人内研修に3回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）
ホーム会議	12	毎月最終木曜日（センター長、サビ管）
世話人会議	2	不定期（センター長、サビ管）

*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
サービス向上委員会（主任、サビ管、他）
家族会（毎月1回、各ホームにて実施）

相談支援事業所みらい

1. 利用状況（平成26年3月31日現在）

- ・計画相談支援事業 契約件数 17件
- ・障害児相談支援事業 契約件数 1件
- ・地域移行、地域定着支援事業 契約件数 0件
- ・豊中市生活アシスタント（相談事業）事業 月平均20～25件の相談

2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) 相談支援専門員(1)
非常勤職員：相談支援専門員(1) 事務員(1)

3. 支援内容の一例

- ・転居によるサービス利用について
- ・長期在宅者の障害サービス利用について（家族の入院によるもの）
- ・関係機関との拡大ケース会議の開催
- ・障害基礎年金申請の申立書の書き方について など…

4. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第5号	4/22	450部
2	第6号	9/20	450部
3	第7号	1/22	450部

5. 委託事業

スポーツレクリエーション事業（豊中市生活アシスタント事業）

内 容：音楽レクリエーション

委託先：NPO 法人ゴールデンベル

実 績：12回実施（月1回） 延べ参加人数…168人

6. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/3 6/12 7/1	平成25年度大阪府相談支援従事者専門コース別研修 高次脳機能障がい支援コース	大阪府障がい者自立相談支援センター		大阪府急性期・総合医療センター	内海
7/11	マッセ・市民セミナー	大阪府社会福祉協議会	権利擁護活動	薬業年金会館	内海

7/12	高機能広汎性発達障がい の理解と支援	大阪府発達障がい者支援センター アクト おおさか		クレオ大阪中央	小松
12/2	大阪府内の知的障がい者福祉関係機関職員に対する「第3回機関研修会」	大阪府障がい者自立相談支援センター		大阪府急性期・総合医療センター	内海
12/11	大阪府高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業 高次脳機能障がい支援関係機関職員研修会(Ⅱ)	障害者医療・リハビリテーション		大阪市住まい情報センター	内海 小松
12/13	サービス等利用計画と個別支援計画の正しい理解と作成方法	大阪府障がい者福祉事業団		茨木市立障害福祉センターハートフル	小松
1/30	発達障害者支援者養成研修②	豊中市社会福祉協議会		東豊中地域福祉活動センター	小松
2/10	平成25年度大阪府地域体制整備コーディネーター研修会	大阪府福祉部障がい者自立相談支援センター		プリムローズ大阪	内海

※その他、法人内研修に3回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回 (センター長・主任)
センター会議	12	毎月第1水曜日 (センター長、主任、センター職員)

*その他 所属長会議 (センター長)、市内施設長会議 (センター長)
えん全体会 (毎月1回)
豊中市域における今後の相談体制検討会 (毎月1回)

ヘルパーステーションあしすと

1. 利用状況（平成26年3月31日現在）

① 平成25年度利用実績

（ ）内は昨年度実績

	移動支援事業		居宅介護事業	
	件数	時間	件数	時間
4月	62(27)	235(118.5)	22(6)	87(27)
5月	60(31)	227.5(131.5)	20(3)	65(13)
6月	72(31)	275.5(116.5)	24(14)	90(50.5)
7月	85(36)	327(150.5)	19(17)	57(56)
8月	96(31)	347(135.5)	33(13)	82.5(30.5)
9月	90(41)	294.5(189.5)	36(17)	100(63.5)
10月	103.5(38)	319(175)	38(16)	84(52.5)
11月	97(56)	343(221)	43(19)	96.5(68.5)
12月	103(72)	367.5(240.5)	40(23)	102(90.5)
1月	93(71)	280.5(230)	42(19)	112(75)
2月	104(56)	328(187)	31(18)	64(58.5)
3月	110(83)	345.5(308)	40(27)	110(118)
計	1075.5(573)	3690(842)	388(192)	1050(703.5)

② 利用契約者数

○移動支援…57名（昨年度比+14名）

○居宅介護…13名（昨年度比+3名）

③ 登録ヘルパー数…42名（昨年度比+13名）

2. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
8/20～ 10/9	介護職員実務者研修	三幸福社 カレッジ		三幸福社カレッジ梅田教室	中江

※その他、法人内研修に3回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、センター職員）

*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）

3. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	ヘルパーが外出からの帰宅時間を教えてくれなかった。また、携帯電話の番号を教えてくれなかった。	イベントの終了時間のみ伝えており、帰宅時間はそれで分かってもらえるものと考えていた。その点について謝罪。携帯電話については、個人の番号は教えることが出来ないことをお伝えし、事業所の携帯番号をお伝えした。
ご家族	外出先の予定と違う場所に行った。	利用者ご本人が支援中に希望されたとのことだったが、その場合であっても、必ず事前にご家庭へ連絡を入れ、確認をしてから行動するように徹底した。